

つばさ「がんと妊孕性」セミナー

# 第1回：

# がん治療と妊孕性(精子・卵子保存)の 必要性と支援の動き



日時 2020年1月30日(木) 14時~16時

会場 フクラシア品川(高輪口)会議室B

つばさでは2019年6月1日に「小児・若年がん罹患者の妊孕性温存への保険適用」を  
請願、8月から署名活動を開始しました。2020年は請願と署名活動を続けながら、AYA  
世代のがん治療の現況、治療経過中の妊孕性温存の機会や費用、温存の経験、支援体制  
の現状などについて、関係各位をお呼びして学んでいきます。今回はその1回目です。



司会/経過報告

橋本 明子 NPO法人血液情報広場・つばさ理事長

講演

**中塚 幹也 先生** 岡山大学大学院保健学研究科 教授、岡山大学病院リプロダクションセンター センター長

2013年、がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA創設。パンフレット、公開セミナー、電子マップ  
作りなどにより地域ネットワークで啓発活動中。岡山県不妊専門相談センターでも「妊孕性温存」に  
ついての相談を受けつけている。

**大杉 タ子 先生** 兵庫医科大学医学部附属病院血液内科 臨床准教授

小児血液がん治療から現在の血液内科に移り、AYA世代の血液腫瘍の治療にあたっておられます。

「血液がん治療開始からのAYA世代」(2019年7月27日：つばさセミナーで講演)

「AYA世代血液がんの闘病への支援のあり方」(2019年10月13日：日本血液学会公開シンポ  
ジウムで講演)

**宮川 サトシ さん** 漫画家 1978年岐阜県生まれ 骨髄異形成症候群を兄からの移植で克服

「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った」(2014年8月 新潮社より刊行)

著者は母から強く薦められて、白血病治療開始前に精子を保存します。その(保存精子)たいせつさに  
気付いたのは、母亡き後でした…。同作は映画化されました(2019年2月全国公開)

ほかに乳がん経験者の方



フクラシア品川(高輪口)

〒108-0074

東京都港区高輪3-25-33 長田ビル6階

- ・ JR品川高輪口駅から徒歩4分
- ・ 京浜急行品川駅から徒歩4分

